

注3

大学番号：私545

[平成22年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

届出

九州産業大学 工学部 住居・インテリア設計学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 中村産業学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 総務部長 シバタ ヨシオ
柴田 善夫

電話番号 092-673-5510

（夜間） 092-673-5510

F A X 092-673-5599

e-mail somu@ip.kyusan-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	12
4	既設大学等の状況	14
5	教員組織の状況	16
6	留意事項に対する履行状況等	26
7	その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 中 村 産 業 学 園

(2) 大学名

九 州 産 業 大 学

(3) 大学の位置

〒 8 1 3 - 8 5 0 3

福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	ヤマシロヒロ 山下寛彦 平成17年6月	イノセ トキ ヒサ 一ノ瀬 秋 久 平成23年3月	一身上の都合のため 平成23年3月18日 (23)
		サトウ ミツ アキ 佐 藤 光 昭 平成21年6月	任期満了のため 平成21年6月16日 (22)
学 長	サゴ ヲシ 佐 護 譽 平成16年12月	ヤマモト イロ オ 山 本 盤 男 平成22年12月	任期満了のため 平成22年12月23日 (23)
学 部 長	カミワタ シゲル 上 和 田 茂 平成14年4月	ホリカワ トシオ 細 川 土佐男 平成24年4月	任期満了のため 平成24年4月1日 (24)
		フジモト ヲシ 藤 本 孝 平成22年4月	任期満了のため 平成22年4月1日 (22)
学科長等	キタヤマ ヒロキ 北 山 広 樹 平成22年4月	コイズミ タカシ 小 泉 隆 平成24年4月	任期満了のため 平成24年4月1日 (24)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する場合 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成21年度開設の4年制の学科の場合（平成24年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 住居・インテリア 設計学科 学士（工学）	4 年	60 人	年次 人	240 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 (-) [-]	-人	60人 (-) [-]	-人	60人 (-) [-]	-人	人	人	1.03倍	
志願者数	151 (-) [6]	- (-) [-]	155 (-) [-]	- (-) [-]	148 (-) [-]	- (-) [-]				
受験者数	148 (-) [6]	- (-) [-]	155 (-) [-]	- (-) [-]	138 (-) [-]	- (-) [-]				
合格者数	127 (-) [2]	- (-) [-]	131 (-) [-]	- (-) [-]	119 (-) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	63 (-) [1]	- (-) [-]	69 (-) [-]	- (-) [-]	55 (-) [-]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B／A	1.05		1.15		0.91					

- (注) ・ 数字は，平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には，編入学の状況について外数で記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(())書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[1] 62	[-] -	[-] 69	[-] -	[-] 55	[-] -	[]	[]	
2 年次			[1] 59	[-] -	[-] 67	[-] -	[]	[]	
3 年次					[1] 54	[-] -	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計									
	[1] 62		[1] 128		[1] 176				

- (注) ・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	63 人	9 人	平成22年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・学生個人の心身に関する事情(1人) ・その他(転学科)(1人)	14.3 %
			平成23年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(3人) ・除籍(1人)	
			平成24年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・就職(1人)	
平成23年度 入学者	69 人	2 人	平成23年度	2 人	0 人	・その他(1人) ・除籍(1人)	2.9 %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	55 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
合 計	187 人	11 人					5.9 %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜工学部 住居・インテリア設計学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	基 礎 科 目 系	プロゼミナール	1後 1前	2			4	2	2 4			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更及び開講期別変更(22)
		基礎数学	1前	2					1			
		基礎物理	1前	2								
		情報処理入門	1後	2					1			
		建築施工	3前	2								
		保存修景計画	3後	2								
		建築法規	3後	2								
		環境化学入門	1後 1前		2							時間割編成における開講期別の変 更(22)
		地球環境学	1後 1前		2							時間割編成において開講期別を変 更(24)
		生態学	1後 1前 1後		2							履出時の期別に変更(24) 時間割編成における開講期別の変 更(23)
	技術者倫理	3前		2								
	専 門 科 目 系	住居概論	1前	2			1					
		住居・インテリア史	1前	2				1	4			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更(22)
		住宅構法計画	1前	2					1			
		インテリア概論	1後	2			1					
		住宅計画	1後	2			1					
		住居環境	1後	2			1					
		設計製図実習	1後	2			1					
		福祉住環境設計論	2前	2			1					
		住居と構造	2前	2				1	4			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更(23)
		住居・インテリア設計基礎実習	2前	2			1					
		CAD実習	2前	2				1	4			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更(23)
		建築材料	2後	2					1			
		力学入門	2後	2					1			
		住宅設計実習	2後	2			1					
		ワークショップ	2後	2			1	2	2			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更(23)
住居・インテリア特論		3前	2			4	2	1 3			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更(24)	
オフィス・ショップ設計論	3前	2			1							
建築力学Ⅰ	3前	2					1					
インテリア設計実習	3前	2			1							
卒業設計	4通	6			4		3					
西洋建築史	1後		2									
住居学実習	2集中		2		1	1	4			専任教員の昇任に伴う配置人数の 変更(23)		
日本建築史	2前		2									
空気環境計画	2前		2									

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	専門科目系	C G実習		2			1	+			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更 (23)
		施設計画		2		1					
		建築音響計画		2							
		防災工学		2							
		建築デザイン		2		1					
		建築設備計画		2		1					
		木造建築論		2							
		インターンシップ		2			1	1+			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更及び教育課程の充実を図るため、教員を追加 (24) 担当 白川敏夫 (講師)
		都市計画		2							
		都市デザイン		2			1	+			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更 (24)
		エレメント設計論		2		1					
		オフィス・ショップ設計実習		2		1					
		鉄筋コンクリート構造		2			1	+			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更 (24)
		建築力学Ⅱ		2							
		ファシリティ・マネジメント		2							
		住宅実施設計		2		1					
		デザインコンペ		2		1					
		鉄骨構造		2							
基礎教育科目	基礎教育科目	導入科目									
		基礎ゼミナール		2		4	2	2 4			専任教員の昇任に伴う配置人数の変更 (22)
		哲学の世界	1・2後 1→2前	2							時間割編成において開講期別を変更 (24)
		倫理学 倫理の世界	未開講 1→2後	2							科目名称を変更 (24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整 (22) (23) (24)
		日本の歴史	1・2前 1→2後 1→2前	2							届出時の期別に変更 (23) 時間割編成における開講期別の変更 (22)
		アジアの歴史	1・2前	2							
		ヨーロッパの歴史	1・2前 1→2後	2							時間割編成における開講期別の変更 (22)
		日本の文学	1・2前	2							
		アジアの文学	1・2前 1→2後	2							時間割編成において開講期別を変更 (24)
		欧米の文学	1・2後 1→2前	2							時間割編成において開講期別を変更 (24)
		心理学概説 心理学の世界	1・2前	2							科目名称を変更 (24)
		文化人類学	1・2前 1→2後	2							時間割編成における開講期別の変更 (23)
		日本の地理と風土	1・2後 1→2前 1→2後	2							届出時の期別に変更 (23) 時間割編成における開講期別の変更 (22)
		世界の地理と風土	未開講 1→2後 1→2前	2							時間割編成において教養科目の開講科目を調整 (24) 時間割編成における開講期別の変更 (22)
		現代の経済	1・2前 1→2後	2							時間割編成における開講期別の変更 (22)
		現代の経営	1・2後 1→2前 1→2後	2							届出時の期別に変更 (23) 時間割編成における開講期別の変更 (22)
		現代の政治	1・2後	2							
		現代の社会	1・2後 未開講 1→2前	2							通常開講及び時間割編成において開講期別を変更 (24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整 (23)
		現代の国際社会	1・2後 1→2前 1→2後 1→2前	2							時間割編成において開講期別を変更 (24) 届出時の期別に変更 (23) 時間割編成における開講期別の変更 (22)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教育科目	教養科目	法学	1・2前 1→2後	2								時間割編成における開講期別の変更(23)
		日本国憲法	1・2後 1→2前	2								時間割編成における開講期別の変更(23)
		ジェンダーと社会	1・2後	2								
		科学・技術史	1・2後 1→2前 1→2後 1→2前	2								時間割編成において開講期別を変更(24) 届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)
		生物の世界	1・2後	2								
		動物行動学	1・2後 1→2前 1→2後	2								届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)
		化学の世界	1・2後 未開講 1→2後	2								通常開講(24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)
		物理の世界	1・2後	2								
		地球環境	1・2前 1→2後	2								時間割編成における開講期別の変更(23)
		数学の世界	1・2前 1→2後	2					1			時間割編成における開講期別の変更(22)
		医学の世界	1・2前 未開講 1→2後	2								通常開講及び時間割編成において開講期別を変更(24) 時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)
		アートスクール【絵画基礎】	1・2前	2								
		アートスクール【デザイン基礎】	1・2前	2								
		アートスクール【写真映像基礎】	1・2前 未開講 1→2前	2								通常開講(24) 担当者退職のため(23)
		世界の美術館Ⅰ	未開講 1→2前	2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		世界の美術館Ⅱ	未開講 1→2後	2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		美学・美術史	1・2前 1→2後	2								時間割編成における開講期別の変更(23)
		音楽概論Ⅰ	未開講 1→2前	2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		音楽概論Ⅱ	未開講 1→2後	2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		人権・同和問題	1・2後 1→2前	2								時間割編成における開講期別の変更(22)
		生涯学習	1・2前 1→2後 1→2前 1→2後	2								時間割編成において開講期別を変更(24) 届出時の期別に変更(23) 時間割編成における開講期別の変更(22)
		総合講座Ⅰ	未開講 1→2前	2								時間割編成において教養科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		総合講座Ⅱ	1・2前 1→2後	2								時間割編成における開講期別の変更(22)
		総合講座Ⅲ	1・2前	2								
		総合講座Ⅳ	1・2後	2								
		総合講座Ⅴ	未開講 1→2前	2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)
		総合講座Ⅵ	未開講 1→2後	2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)
		総合講座Ⅶ	未開講 1→2前	2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)
		総合講座Ⅷ	未開講 1→2後	2								教養科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)
		教養講座	1・2前	2								
		教養ゼミナール	1・2後	2								

科目 区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎 教育 科目	教 養 科 目	学部連携基礎演習Ⅰ	未開講 1→2前		2							学部連携科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)
		学部連携基礎演習Ⅱ	未開講 1→2後		2							学部連携科目の充実を図るため科目を追加及び時間割編成において教養科目の開講科目を調整(24)
		スタディ・スキル【国語力】	1・2後		2							教養科目の充実を図るため科目を追加し、兼任教員が担当する(24)
		スタディ・スキル【文章力】	1・2前		2							教養科目の充実を図るため科目を追加し、兼任教員が担当する(24)
	キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成基礎論	1前		2							キャリア教育の充実を図るため科目を追加し、兼担教授が担当する(23)
		キャリア開発論	2前		2							
		実践キャリア学修A	未開講 1→2→3集中		2		1					時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		実践キャリア学修B	1・2・3集中 未開講 1→2→3集中		2			1	+			通常開講及び担当者を変更(24) 時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23) 専任教員の昇任に伴う配置人数の変更(22)
		実践キャリア学修C	未開講 1→2→3集中		2							時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		実践キャリア演習A	未開講 1→2→3前		2		1					時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		実践キャリア演習B	未開講 1→2→3後		2		1					時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		実践キャリア演習C	未開講 1→2→3前		2		1					時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)(24)
		実践キャリア演習D	1・2・3後 未開講 1→2→3後		2		+					通常開講及び担当者を変更(24) 時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(22)(23)
		ゼミナール・サポーター	未開講 3→4前		2		1					時間割編成においてキャリア科目の開講科目を調整(24)
		キャリア形成基礎論	3後		2							キャリア教育の充実を図るため科目を追加し、兼担教授が担当する(23)
		学生サポーター	1・2・3集中		2							キャリア科目の充実を図るため科目を追加し、兼担准教授が担当する(24)
		学生ボランティア入門	1・2後		2							キャリア科目の充実を図るため科目を追加し、兼担教授が担当する(24)
	心 と 身 体 の 健 康 科 目	心の健康	1・2後 1→2前		2							時間割編成における開講期別の変更(23)
		健康学	1・2後 1→2前		2							時間割編成における開講期別の変更(22)
		スポーツ科学演習A	1・2前		2							
		スポーツ科学演習B	未開講 1→2後		2							時間割編成において心と身体の健康科目の開講科目を調整(22)(23)(24)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語Ⅰ	1前		1							
	英語Ⅱ	1後		1							
	英語会話Ⅰ	1前		1							
	英語会話Ⅱ	1後		1							
	ドイツ語Ⅰ	1前		1							
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							
	フランス語Ⅰ	1前		1							
	フランス語Ⅱ	1後		1							
	韓国語Ⅰ	1前		1							
	韓国語Ⅱ	1後		1							
	中国語Ⅰ	1前		1							
	中国語Ⅱ	1後		1							
	英語Ⅲ	2前		1							
	英語Ⅳ	2後		1							
	英語会話Ⅲ	2前		1							
	英語会話Ⅳ	2後		1							
	ドイツ語Ⅲ	2前		1							
	ドイツ語Ⅳ	2後		1							
	英語Ⅴ	3前		1							
	英語Ⅵ	3後		1							
	英語会話Ⅴ	3前		1							
	英語会話Ⅵ	3後		1							
	英語Ⅶ	4前		1							
	英語Ⅷ	4後		1							
	英語会話Ⅶ	4前		1							
	英語会話Ⅷ	4後		1							
	英語表現法	4前		2							
	Four SkillsⅠ	1前		2							実践的英語教育のため科目を追加 (22) 担当 Luke Fryer (講師) Charles Anderson (講師)
	Four SkillsⅡ	1後		2							実践的英語教育のため科目を追加 (22) 担当 Luke Fryer (講師) Charles Anderson (講師)
	Advanced Reading & WritingⅠ	2前		2							実践的英語教育のため科目を追加 (22)
	Advanced Reading & WritingⅡ	2後		2							実践的英語教育のため科目を追加 (22)
	Introduction to Online English	2前		1							実践的英語教育のため科目を追加 (22)
	Professional Writing Skills	2後		1							実践的英語教育のため科目を追加 (22)
	Introduction to Translation	2後		1							実践的英語教育のため科目を追加 (22)
	Writing for Specific Purposes	2前 2後		1							時間割編成における開講期別の変更 (23) 実践的英語教育のため科目を追加 (22)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	Domestic Job Training	2通		6							実践的英語教育のため科目を追加(22)
	Overseas Job Training	3通		8							実践的英語教育のため科目を追加(22)
留学生に関する科目	日本語初級 A	1前		1							
	日本語初級 B	1後		1							
	日本語初級 C	1前		1							
	日本語初級 D	1後		1							
	日本語中級 A	2前		1							
	日本語中級 B	2後		1							
	日本語中級 C	2前		1							
	日本語中級 D	2後		1							
	日本の歴史 A	1前		2							
	日本の歴史 B	1後		2							
	日本の文化 A	1前		2							
	日本の文化 B	1後		2							
	日本の政治経済 A	1前		2							
	日本の政治経済 B	1後		2							
	一般日本事情 A	1前		2							
	一般日本事情 B	1後		2							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	127	0	154	27	149		176	
				[]	[22]	[]	[22]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	倫理学	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
2	世界の地理と風土	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
3	世界の美術館Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
4	世界の美術館Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
5	音楽概論Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
6	音楽概論Ⅱ	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
7	総合講座Ⅰ	2	1・2前	一般	選択	時間割編成における教養科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
8	実践キャリア学修A	2	1・2・3集中	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
9	実践キャリア学修C	2	1・2・3集中	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
10	実践キャリア演習A	2	1・2・3前	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
11	実践キャリア演習B	2	1・2・3後	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
12	実践キャリア演習C	2	1・2・3前	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
13	ゼミナール・サポーター	2	3・4前	一般	選択	時間割編成におけるキャリア科目の開講科目調整、代替措置無。(24)
14	スポーツ科学演習B	2	1・2後	一般	選択	時間割編成における心と身体健康科目の開講科目調整、代替措置無。(24)

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 全学部共通に開設している基礎教育科目は授業時間割編成において、全学的な見地から開講科目等を調整の上開講したため、上記(3)の科目はやむなく未開講となったが、次年度以降はできる限り「教養科目」「キャリア科目」「心と身体健康科目」の開講調整の上、実施する計画である。</p> <p>「学生への周知方法」 混乱を避けるため、授業時間割表に掲載していない。</p>

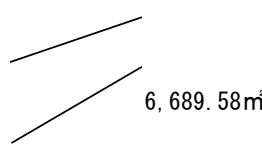
- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	14	=	0.09
認可時の計画の授業科目数の計	154		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎敷地と別地 宗像運動場用地 169,907.00㎡ 所要時間：約40分 距離：約22.14Km 水谷運動場用地 15,352.53㎡ 所要時間：約10分 距離：約2.5Km 土地購入のため (22) 土地売却のため (22) 土地購入のため (23)				
	校 舎 敷 地	140,930.46㎡ 137,149.46㎡	0㎡	8,908.00㎡	149,838.46㎡ 146,057.46㎡					
	運動場用地	185,259.53㎡	82,349.65㎡ 81,013.98㎡ 79,945.65㎡	1,616.00㎡	269,225.18㎡ 267,889.51㎡ 266,821.18㎡					
	小 計	326,189.99㎡ 322,408.99㎡	82,349.65㎡ 81,013.98㎡ 79,945.65㎡	10,524.00㎡	419,063.64㎡ 413,946.97㎡ 412,878.64㎡					
	そ の 他	20,006.02㎡ 20,661.02㎡	0㎡	0㎡	20,006.02㎡ 20,661.02㎡					
	合 計	346,196.01㎡ 342,415.01㎡ 343,070.01㎡	82,349.65㎡ 81,013.98㎡ 79,945.65㎡	10,524.00㎡	439,069.66㎡ 433,952.99㎡ 433,539.66㎡					
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新棟建設のため (23)				
		165,720.97㎡ 165,415.95㎡	0㎡	11,966.82㎡	177,687.79㎡ 177,382.77㎡					
		(165,415.95㎡)	(0㎡)	(11,966.82㎡)	(177,382.77㎡)					
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	使用用途変更のため (22) (23) (24) 人事異動のため (22) (23)			
		169室 173室 172室 179室	208室 210室 222室 213室	508室 505室 498室 497室	24室 22室 9人 (補助職員 10人)	15室 9室 4人 3人 (補助職員 4人)				
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		工学部 住居・インテリア設計学科			8 室					
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	購入冊数が当初より増加 したため (22) (23) (24)	
	工学部 住居インテリア 学科	3,206〔383〕 (3,055〔389〕) (2,811〔388〕) (2,568〔384〕) (2,350〔383〕)	33〔7〕 (33〔7〕)		2〔2〕 (2〔2〕)	21 (21)	1,477 (1,694) (1,669) (1,620) (1,422)	4 (4)		
	計	3,206〔383〕 (3,055〔389〕) (2,811〔388〕) (2,568〔384〕) (2,350〔383〕)	33〔7〕 (33〔7〕)		2〔2〕 (2〔2〕)	21 (21)	1,477 (1,694) (1,669) (1,620) (1,422)	4 (4)		機械・器具を充実したた め (22) (23) (24)
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
		8,828㎡		982		665,000				
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		 6,689.58㎡		武 道 館		弓 道 場				
				野 球 場		陸 上 競 技 場				
				球 技 場		テ ニ ス コ ー ト				
				ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト		ゴ ル フ 練 習 場				
				ア ー チェリ ー 場		屋 内 プ ー ル				
(8)経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	当初は予算額を記入して いたが執行額に変更した ため(22) (23) (24)
		教員1人当り研究費等		460千円	460千円	460千円	460千円	— 千円	— 千円	
		共 同 研 究 費 等		2,610千円 2,588千円 50千円	8,147千円 8,236千円 90千円	140千円	180千円	— 千円	— 千円	
		図 書 購 入 費	919千円 910千円	829千円 820千円	751千円 740千円	660千円	660千円	— 千円	— 千円	
		設 備 購 入 費	5,020千円 5,100千円	14,753千円 15,920千円 1,300千円	5,312千円 5,450千円 2,600千円	3,900千円	5,100千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次			
		1,354千円	1,124千円	1,124千円	1,124千円	— 千円	— 千円			
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入等						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	九州産業大学								備 考
既 設 学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経済学部 経済学科 (昼間主コース)	4	400	—	1,600	学士(経済学)	1.17	平成5年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番1号	
経済学科 (夜間主コース)	4	50	—	200	学士(経済学)	1.14	平成5年度	同 上	
商学部第一部 商学科	4	400	—	1,600	学士(商学)	1.09	昭和35年度	同 上	
観光産業学科	4	150	3年次 15	630	学士(商学)	1.06	平成11年度	同 上	
商学部第二部 商学科	4	50	—	200	学士(商学)	0.67	昭和39年度	同 上	
経営学部 国際経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.11	昭和56年度	同 上	
産業経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.12	昭和43年度	同 上	
工学部 機械工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.02	昭和38年度	同 上	
電気情報工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.18	昭和38年度	同 上	※平成19年度より 学科名称変更 (旧電気工学科)
物質生命化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.26	昭和38年度	同 上	
都市基盤デザイン 工学科	4	60	—	260	学士(工学)	0.75	昭和39年度	同 上	※平成22年度より定 員変更(80→60)
建築学科	4	70	—	310	学士(工学)	1.15	昭和39年度	同 上	※平成22年度より定 員変更(100→70)
住居・インテリア設計 学科	4	60	—	180	学士(工学)	1.03	平成22年度	同 上	
バイオロジクス学科	4	55	—	230	学士(工学)	0.75	平成16年度	同 上	※平成22年度より定 員変更(65→55)
芸術学部 美術学科	4	80	—	320	学士(芸術)	0.58	昭和41年度	同 上	
芸術工芸学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成14年度	同 上	※平成20年度より 学生募集停止 (芸術工芸学科)
デザイン学科	4	180	—	720	学士(芸術)	0.92	昭和41年度	同 上	
写真映像学科	4	80	—	320	学士(芸術)	0.74	昭和41年度	同 上	※平成20年度より学 科名称変更 (旧写真学科)
国際文化学部 国際文化学科	4	80	3年次 16	352	学士(国際文化)	1.19	平成6年度	同 上	
日本文化学科	4	60	3年次 12	264	学士(国際文化)	1.22	平成6年度	同 上	※平成20年度より 学科名称変更 (旧地域文化学科)
臨床心理学科	4	60	3年次 12	264	学士(文学)	1.16	平成16年度	同 上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
情報科学部	年	人	年次 人	人		倍			
情報科学科	4	160	—	640	学士(情報科学)	0.81	平成21年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番1号	※平成21年度より 学生募集停止 (社会情報システム学科) ※平成21年度より 学生募集停止 (知能情報学科)
社会情報システム学科	4	—	—	—	学士(情報科学)	—	平成14年度	同 上	
知能情報学科	4	—	—	—	学士(情報科学)	—	平成14年度	同 上	
大 学 の 名 称	九州造形短期大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
造形芸術学科	2	200	—	400	短期大学士 (芸術)	0.60	平成19年度	福岡県福岡市 東区松香台二 丁目3番2号	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 住居・インテリア設計学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	上和田 茂 (61)	平成22年4月	プロゼミナール 住宅計画 福祉住環境設計論 住宅設計実習 施設計画 住居・インテリア特論 卒業設計 住宅実施設計 ゼミナール・サポーター 基礎ゼミナール						
専	教授	北山 広樹 (48)	平成22年4月	プロゼミナール 住居環境 ワークショップ 建築設備計画 住居・インテリア特論 卒業設計 住居学実習 実践キャリア学修A 基礎ゼミナール						
専	教授	小泉 隆 (46)	平成22年4月	プロゼミナール 住居概論 設計製図実習 建築デザイン 住居・インテリア特論 エレメント設計論 卒業設計 デザインコンペ 実践キャリア演習A 実践キャリア演習B 基礎ゼミナール						
専	教授	飯田 一博 (60)	平成22年4月	プロゼミナール インテリア概論 住居・インテリア設計基礎実習 住居・インテリア特論 オフィス・ショップ設計論 インテリア設計実習 オフィス・ショップ設計実習 卒業設計 実践キャリア演習C 実践キャリア演習D 基礎ゼミナール						
					兼任	講師	鬼塚 淳子 (50)	平成24年4月	実践キャリア演習D	授業時間割編成において担当者を 変更(24)
専	講師	山本 卓宏 (32)	平成22年4月	プロゼミナール 基礎数学 情報処理入門 数学の世界 基礎ゼミナール						
専	講師	諫見 泰彦 (44)	平成22年4月	プロゼミナール 住居・インテリア史 CAD実習 ワークショップ CG実習 住居・インテリア特論 都市デザイン インターンシップ 卒業設計 実践キャリア学修B 基礎ゼミナール	専	准教授	諫見 泰彦 (44)			平成22年4月1日准教授昇任(22)
					兼任	准教授	中村 賢仁 (43)	平成24年4月	実践キャリア学修B	授業時間割編成において担当者を 変更(24)
専	講師	花井 伸明 (34)	平成22年4月	プロゼミナール 住居と構造 ワークショップ 住居・インテリア特論 鉄筋コンクリート構造 卒業設計 住居学実習 基礎ゼミナール	専	准教授	花井 伸明 (34)			平成22年4月1日准教授昇任(22)
専	講師	白川 敏夫 (51)	平成22年4月	プロゼミナール 住宅構法計画 建築材料 力学入門 住居・インテリア特論 建築力学Ⅰ 卒業設計 基礎ゼミナール						
					専	講師	白川 敏夫 (53)	平成24年4月	インターンシップ	教育課程の充実を図るため、担当 者を追加(24)

（共通）

（１）担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	池田 和興 (64)	平成22年4月	基礎数学	兼任	講師	川口 良 (32)	平成24年4月	基礎数学	平成24年3月 池田和興教授退職のため担当者を変更 (24)
兼任	教授	濱田 英隆 (50)	平成22年4月	基礎数学	兼任	教授	梅野 高司 (61)	平成22年4月	基礎数学	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	教授	大浦 博樹 (60)	平成22年4月	環境化学入門 化学の世界	兼任	教授	村石 治人 (64)	平成23年4月	環境化学入門	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
					兼任	講師	中島 道夫 (62)	平成24年4月	化学の世界	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	教授	林 正雄 (69)	平成22年4月	地球環境学	兼任	教授	河野 忠臣 (65)	平成23年4月	地球環境学	平成23年3月 林正雄教授退職のため担当者の変更 (23)
					兼任	講師	鷹野 重之 (35)	平成24年4月	地球環境学	平成24年3月 河野忠臣教授退職のため担当者を変更 (24)
兼任	教授	西田 勝 (68)	平成23年4月	空気環境計画 建築音響計画	兼任	講師	深川 健太 (36)	平成24年4月	空気環境計画 建築音響計画	平成24年3月 西田勝教授退職のため担当者を変更 (24)
兼任	教授	檜橋 秀衛 (59)	平成23年4月	防災工学 技術者倫理 建築力学Ⅱ						
兼任	教授	九谷 和秀 (59)	平成25年4月	鉄骨構造						
兼任	教授	日高 圭一郎 (43)	平成22年4月	情報処理入門 都市計画 建築法規						
兼任	教授	呉 紅華 (46)	平成22年4月	アジアの文学	兼任	講師	陳 翀 (35)	平成22年4月	アジアの文学	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23)
					兼任	講師	岡村 真寿美 (45)	平成24年4月	アジアの文学	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	教授	佐藤 秀樹 (44)	平成22年4月	現代の経済	兼任	講師	原 みどり (31)	平成22年4月	現代の経済	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	大野 正久 (31)	平成23年4月	現代の経済	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	教授	クリストファー・W. A. スピelman (58)	平成22年4月	現代の国際社会	兼任	講師	川上 耕平 (37)	平成22年4月	現代の国際社会	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	教授	川口 俊郎 (65)	平成22年4月	科学・技術史 物理の世界	兼任	講師	三島 正章 (63)	平成22年4月	物理の世界	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
					兼任	講師	鷹野 重之 (34)	平成23年4月	科学・技術史	平成23年3月 川口俊郎教授退職のため担当者の変更 (23) (24)
兼任	教授	村石 治人 (63)	平成22年4月	地球環境	兼任	講師	金光 理 (52)	平成22年4月	地球環境	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	教授	河野 忠臣 (65)	平成23年4月	地球環境	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	金光 理 (54)	平成24年4月	地球環境	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	教授	安藤 光一 (62)	平成22年4月	生物の世界	兼任	講師	市川 敏夫 (59)	平成22年4月	生物の世界	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	教授	村谷 博美 (56)	平成22年4月	医学の世界						
兼任	教授	宇田川 宣人 (65)	平成22年4月	アートスクール【絵画基礎】						
兼任	教授	飯高 由希雄 (55)	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	准教授	坂本 浩 (39)	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施。 (22) (23) (24)
兼任	教授	網本 義弘 (65)	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	教授	黒岩 俊哉 (44)	平成23年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	平成23年3月 網本義弘教授退職のため担当者の変更 オムニバス形式で実施 (23) (24)
兼任	教授	車 政弘 (65)	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	准教授	栗田 融 (47)	平成23年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	平成23年3月 車政弘教授退職のため担当者の変更 オムニバス形式で実施 (23) (24)
兼任	教授	石川 寛夫 (63)	平成22年4月	アートスクール【写真映像基礎】			後任未定			平成23年3月 石川寛夫教授退職 (23)
					兼任	教授	丸尾 繁夫 (64)	平成24年4月	アートスクール【写真映像基礎】	平成23年3月 石川寛夫教授退職のため担当者の変更 (24)
兼任	教授	中島 秀憲 (62)	平成22年4月	教養講座						
兼任	教授	北島 己佐吉 (59)	平成23年4月	キャリア開発論						
兼任	教授	倉知 延章 (52)	平成22年4月	心の健康 教養ゼミナール	兼任	教授	倉知 延章 (53)	平成22年4月	心の健康 ※	オムニバス形式で実施 (22)
					兼任	准教授	奥村 浩正 (47)	平成22年4月	心の健康 ※	オムニバス形式となったため、担当者追加 (22) (23) (24)
					兼任	教授	奥村 浩正 (48)			平成23年4月1日教授昇任 (23) (24)
					兼任	教授	久保田 進也 (48)	平成23年4月	心の健康 ※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施 (23)
					兼任	講師	鬼塚 淳子 (50)	平成24年4月	心の健康 ※	授業時間割編成において担当者を変更 オムニバス形式で実施 (24)
兼任	教授	大賀 信孝 (61)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	教授	河野 賢司 (50)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	徳永 美紀 (39)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	土岸 真由美 (33)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
					兼任	教授	岡村 東洋光 (63)	平成22年4月	教養講座（英国学入門）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 (22) (23)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	平野 英一 (42)	平成22年4月	教養講座（九産大・学）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	教授	平野 英一 (43)	平成23年4月	教養講座（九産大・学）※	オムニバス形式で実施(23)
					兼任	教授	平野 英一 (44)	平成24年4月	教養講座（九産大・学）	単独で実施(24)
					兼任	教授	山本 久義 (66)	平成22年4月	教養講座（地域振興戦略論）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	教授	栃内 一郎 (62)	平成22年4月	教養ゼミナール（現代企業事情）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(24)
					兼任	教授	池内 秀己 (54)	平成22年4月	教養ゼミナール（DVDでオペラを楽しむ）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	木元 富夫 (63)	平成22年4月	教養ゼミナール（博多・福岡の近代化）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	文 言 (49)	平成22年4月	教養ゼミナール（教養の囲碁）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	増井 武士 (64)	平成22年4月	教養ゼミナール（自己援助学入門～困ったときどうするか？～）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	教授	松永 勝也 (68)	平成22年4月	教養ゼミナール（安全科学）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	教授	合志 和晃 (40)	平成22年4月	教養ゼミナール（ゲームプログラミング） 教養ゼミナール（プログラミング入門）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	教授	Apuhan Bernady O. (52)	平成22年4月	教養ゼミナール（英語でコンピュータ・リテラシー）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	原 巖 (54)	平成22年4月	スポーツ科学演習 A	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	教授	田中 義人 (42)	平成23年4月	教養講座（離散数学入門）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	教授	秋山 優 (53)	平成23年4月	教養講座（九産大・学）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)
					兼任	教授	下村 耕史 (68)	平成23年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	教授	梶原 茂正 (62)	平成23年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	教授	釜堀 文孝 (58)	平成23年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	教授	内山 敏典 (61)	平成23年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	教授	山本 盤男 (64)	平成24年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	宮野 俊明 (42)	平成23年4月	教養ゼミナール（行財政から地域を見る）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	教授	窪田 由紀 (58)	平成23年4月	教養ゼミナール（スポーツとカウンセリング）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	教授	大西 純一 (54)	平成23年4月	キャリア形成基礎論 キャリア形成戦略	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)
					兼任	教授	黄 完晟 (57)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	加藤 要一 (45)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	芳賀 博文 (46)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	本間 聡 (45)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	益村 真知子 (58)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	宮野 俊明 (43)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	原 康記 (51)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	山田 秀 (64)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	下村 耕史 (69)	平成24年4月	教養講座（近代日本の美術） 教養ゼミナール（19世紀都市と視点） 教養ゼミナール（世紀末における社会的モデルネと美的モデルネ）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	教授	秋山 優 (54)	平成24年4月	学生ボランティア入門※	平成24年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	教授	緒方 泉 (54)	平成24年4月	学生ボランティア入門※	平成24年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 オムニバス形式で実施(24)
兼任	准教授	牟田 正憲 (63)	平成22年4月	基礎数学	兼任	講師	鍛冶 俊輔 (36)	平成23年4月	基礎数学	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)
兼任	准教授	金子 和也 (57)	平成22年4月	基礎物理	兼任	准教授	奥野 徐迅 (47)	平成23年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	准教授	金子 和也 (59)	平成24年4月	基礎物理	届出時の教員が担当する(24)
兼任	准教授	内田 泰三 (39)	平成22年4月	生態学						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	野口 広明 (60)	平成22年4月	欧米の文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ						
					兼任	講師	林 秀彦 (56)	平成22年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	准教授	野口 広明 (61)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	届出時の教員が担当する(23)(24)
兼任	准教授	橋本 祐子 (36)	平成22年4月	法学 日本国憲法	兼任	講師	矢野 聖慈 (63)	平成24年4月	法学	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	矢野 聖慈 (61)	平成22年4月	日本国憲法	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(24)
兼任	准教授	奥村 浩正 (46)	平成22年4月	健康学 スポーツ科学演習A スポーツ科学演習B	兼任	教授	村谷 博美 (56)	平成22年4月	健康学	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	教授	安河内 春彦 (55)	平成23年4月	スポーツ科学演習A 健康学	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)
					兼任	講師	安陪 大治郎 (40)	平成24年4月	健康学	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	准教授	富原 裕二 (58)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	神澤 芳賢 (55)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)
					兼任	講師	藤野 和恵 (45)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	准教授	原口 正夫 (62)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	黒瀬 悠佳子 (41)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)(24)
					兼任	准教授	尾張 充典 (43)	平成22年4月	教養講座（ドイツ映画）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	教授	尾張 充典 (45)	平成24年4月		平成24年4月1日教授昇任(24)
					兼任	准教授	野口 広明 (60)	平成22年4月	教養講座（ヨーロッパ学入門）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	准教授	伊藤 弥生 (38)	平成22年4月	教養ゼミナール （セクシャリティの尊厳と多様性を学ぶ）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	准教授	伊藤 弥生 (40)	平成24年4月	教養ゼミナール （一緒にすすめる進路活動）	サブタイトルを変更(24)
					兼任	准教授	長谷川 由紀子 (52)	平成22年4月	教養ゼミナール（映像を通して学ぶ韓国文化）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	准教授	森川 友子 (42)	平成22年4月	教養ゼミナール（「入門 心理療法の世界」）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	准教授	安永 信二 (56)	平成22年4月	教養ゼミナール（ギリシア神話の探求）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(24)
					兼任	准教授	山下 勉 (63)	平成22年4月	教養ゼミナール（アメリカの“アメリカらしさ”を知らう）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	准教授	橋本 祐子 (36)	平成22年4月	教養ゼミナール（映画で学ぶ法と裁判）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)
					兼任	准教授	志水 智子 (39)	平成23年4月	教養ゼミナール（アメリカの“アメリカらしさ”を知らう）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	准教授	古賀 道生 (62)	平成23年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	准教授	小林 繁夫 (58)	平成23年4月	教養講座（柿右衛門様式学-“やきもの”の技法と歴史及び美-）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(23)(24)
					兼任	准教授	萱沼 美香 (36)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	宗像 優 (41)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	安高 優司 (52)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	山崎 博司 (54)	平成24年4月	教養講座（ふくおか事始め～福岡県経済と福岡都市圏の課題と展望）※	教育課程の充実を図るため、担当者を追加 オムニバス形式で実施(24)
					兼任	准教授	中村 賢仁 (43)	平成24年4月	学生サポーター	平成24年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
兼任	講師	渋谷 謙一 (63)	平成22年4月	基礎数学	兼任	講師	田中 徳子 (28)	平成22年4月	基礎数学	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(24)
					兼任	講師	若林 徳子 (30)	平成24年4月		旧姓使用希望のため変更(24)
兼任	講師	脇黒 長憲 (63)	平成22年4月	基礎物理	兼任	講師	鷹野 重之 (34)	平成23年4月	基礎物理	平成23年3月 脇黒長憲講師退職のため担当者の変更(23)(24)
兼任	講師	額原 澄子 (38)	平成22年4月	西洋建築史 日本建築史 保存修景計画	兼任	講師	富田 英夫 (37)	平成24年4月	西洋建築史 日本建築史 保存修景計画	平成24年2月 額原澄子講師退職のため担当者を変更(24)
兼任	講師	吉原 弘道 (42)	平成22年4月	日本の歴史 日本の歴史A 日本の歴史B						
					兼任	講師	河村 哲夫 (64)	平成24年4月	日本の歴史A 日本の歴史B	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	講師	田村 隆 (31)	平成22年4月	日本の文学	兼任	講師	今井 明 (56)	平成22年4月	日本の文学	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)
					兼任	講師	森 誠子 (33)	平成24年4月	日本の文学	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	講師	金 尾勲 (38)	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	兼任	講師	田 承樹 (38)	平成22年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施(22)
					兼任	准教授	安武 正剛 (61)	平成23年4月	アートスクール【デザイン基礎】※	授業時間割編成において担当者の変更 オムニバス形式で実施(23)(24)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	神澤 芳賢 (55)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	與古光 宏 (35)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	神澤 芳賢 (57)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	届出時の教員が担当する (24)
兼任	講師	南 佑亮 (30)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	立山 昇 (62)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	南 佑亮 (31)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	届出時の教員が担当する (23)
					兼任	准教授	志水 智子 (40)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	平成24年3月 南祐亮講師退職のため担当者を変更 (24)
					兼任	講師	島居 佳江 (47)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23) 平成24年3月 南祐亮講師退職のため担当者を変更 (24)
兼任	講師	Corbet Vernon Sullivan (61)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ 英語会話Ⅶ 英語会話Ⅷ						
兼任	講師	Luke Fryer (34)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Wayne Macpherson (42)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Luke Fryer (35)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	届出時の教員が担当する (23)
					兼任	講師	Andrew Gallacher (33)	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
					兼任	講師	徳永 美紀 (39)	平成23年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	大園 修一 (37)	平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	Trevor Allan Holster (41)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Williams Ray (41)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	講師	Charles Jefferson Anderson (44)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Stephen Paton (32)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Eric Jonethan Miller (45)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	講師	Linda Marie Joyce (45)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	William Ludwell Quint Oga-Baldwin (27)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Alexander Cameron (33)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Alexander Cameron (34)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任から兼任となったことに伴う区分の変更 授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	Timothy James Pritchard (38)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
					兼任	講師	Michael Jordan Berg (33)	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart (33)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ						
					兼任	講師	Adam Gabriel Stone (34)	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas (34)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	兼任	講師	Mason Lampert (32)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas (35)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	届出時の教員が担当する (23) (24)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	Darcy DeLint (44)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Andrew Thompson (40)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	講師	與古光 宏 (34)	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	兼任	講師	保家 信太郎 (40)	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	保家 信太郎 (38)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	兼任	講師	與古光 宏 (34)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	講師	徳永 美紀 (38)	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ				平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	Cochrane Robert (46)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	Gibson Aaron LeVan (32)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ 英語会話Ⅶ 英語会話Ⅷ						
兼任	講師	Marie Emilie Masson (27)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ						
					兼任	講師	Jenifer Larson-Hall (43)	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	Andrew Gallacher (33)	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	Millikan Stella (36)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ 英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ						
								平成24年4月	英語会話Ⅴ 英語会話Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	Stubbe Raymond Geroqe (50)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Wilkins Simon (32)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Stephen Paton (34)	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	准教授	Luke Fryer (36)	平成24年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	講師	大園 修一 (35)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅶ 英語Ⅷ	兼任	准教授	三浦 香織 (39)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	大西 斎 (48)	平成22年4月	教養講座（行列ができるほど役立つ法律講義）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	講師	藤田 尚志 (36)	平成22年4月	教養講座（結婚の哲学－愛・性・家族について考えてみる）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	講師	金崎 雅之 (39)	平成22年4月	教養ゼミナール（経済学と数学の基礎）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(24)
					兼任	准教授	金崎 雅之 (40)			平成23年4月准教授昇任(23)(24)
					兼任	講師	石田 俊一 (30)	平成22年4月	教養講座（身近な数学） 教養ゼミナール（情報の収集と発信）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	講師	石田 俊一 (32)	平成24年4月	教養ゼミナール（情報の収集と発信）	授業時間割編成において開講クラスを調整(24)
					兼任	講師	峯 淳子 (48)	平成22年4月	教養ゼミナール（仲間をつくろう）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)(23)(24)
					兼任	講師	鬼塚 淳子 (50)	平成24年4月		旧姓使用希望のため変更(24)
					兼任	講師	吉原 弘道 (42)	平成22年4月	教養ゼミナール（日本の中世）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(22)
					兼任	講師	吉原 弘道 (44)	平成24年4月	教養ゼミナール（映像で学ぶ日本の歴史）	サブタイトルを変更(24)
					兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas (34)	平成22年4月	Domestic Job Training	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(22)
					兼任	講師	Charles Jefferson Anderson (44)	平成22年4月	Four SkillsⅠ Four SkillsⅡ	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(22)
					兼任	講師	Luke Fryer (34)	平成22年4月	Four SkillsⅠ Four SkillsⅡ Overseas Job Training	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(22)
					兼任	准教授	Luke Fryer (36)	平成24年4月		平成24年4月1日准教授昇任(24)
					兼任	講師	鍛冶 俊輔 (36)	平成23年4月	教養講座（Excelでデータ解析） 教養ゼミナール（Excelの初歩から）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)
					兼任	講師	鍛冶 俊輔 (37)	平成24年4月	教養ゼミナール（Excelの初歩から）	授業時間割編成において開講クラスを調整(24)
					兼任	講師	森 誠子 (32)	平成23年4月	教養講座（乱世より生まれた文学） 教養ゼミナール（時空を超えた、福岡の名所巡り） 教養ゼミナール（異界への誘い）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	上西 聡子 (32)	平成24年4月	教養ゼミナール（科学と政治の問題に触れてみよう） 教養ゼミナール（宗教社会学に触れてみよう）	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	立山 昇 (63)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	徳永 美紀 (39)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	與古光 宏 (36)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	土岸 真由美 (33)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	Marie Emilie Masson (28)	平成23年4月	Four SkillsⅠ Four SkillsⅡ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)(24)
					兼任	講師	Mark Walker Howarth (39)	平成24年4月	Four SkillsⅠ Four SkillsⅡ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	Charles Jefferson Anderson (45)	平成23年4月	Advanced Reading & WritingⅠ Advanced Reading & WritingⅡ	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)
					兼任	講師	Wilkins Simon (33)	平成23年4月	Advanced Reading & WritingⅠ Advanced Reading & WritingⅡ Professional Writing Skills	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)
					兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart (35)	平成24年4月	Advanced Reading & WritingⅠ Advanced Reading & WritingⅡ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	Jeffrey John Ralph Stewart (34)	平成23年4月	Introduction to Online English	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)
					兼任	講師	Cochrane Robert (48)	平成24年4月	Introduction to Online English	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	Bovee, Hiroyuki Nicholas (35)	平成23年4月	Introduction to Translation	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)
					兼任	講師	Millikan Stella (37)	平成23年4月	Writing for Specific Purposes	平成23年4月から 教育課程の充実を図るため、 科目を追加(23)
兼任	講師	杉崎 昌和 (70)	平成22年4月	基礎物理	兼任	准教授	赤坂 亮 (42)	平成22年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(22)
					兼任	准教授	中原 健志 (33)	平成23年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	准教授	徐 迅 (48)	平成24年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	講師	奥田 篤行 (67)	平成22年4月	基礎物理	兼任	准教授	中村 賢仁 (41)	平成22年4月	基礎物理	授業時間割編成において担当者の変更(22)(23)(24)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	藤井 裕也 (68)	平成24年4月	建築施工	兼任	講師	小山内 裕 (59)	平成24年4月	建築施工	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	尾方 孝弘 (40)	平成22年4月	設計製図実習						
兼任	講師	家原 英生 (53)	平成23年4月	住居・インテリア設計基礎実習						
兼任	講師	深野木 隆 (56)	平成23年4月	住宅設計実習						
兼任	講師	谷口 遼 (50)	平成24年4月	インテリア設計実習						
兼任	講師	杉村 逸男 (59)	平成24年4月	木造建築論	兼任	講師	小林 利武 (47)	平成24年4月	木造建築論	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	福山 秀親 (46)	平成24年4月	オフィス・ショップ設計実習						
兼任	講師	柳瀬 真澄 (56)	平成24年4月	オフィス・ショップ設計実習	兼任	講師	柳瀬 真澄 (56)	平成24年4月	インテリア設計実習	教育課程の充実を図るため、担当科目を変更、インテリア設計実習の担当者を追加 (24)
兼任	講師	井上 伸也 (62)	平成25年4月	ファシリティ・マネジメント						
兼任	講師	富吉 建周 (67)	平成22年4月	哲学の世界 倫理の世界	兼任	講師	平井 靖史 (40)	平成23年4月	哲学の世界	担当教員退職のため担当者の変更 (23)
					兼任	講師	後藤 正英 (38)	平成24年4月	哲学の世界	担当教員退職のため担当者を変更 (24)
					兼任	講師	藤田 尚志 (37)	平成23年4月	倫理の世界	担当教員退職のため担当者の変更 (23)
兼任	講師	梅津 教孝 (58)	平成22年4月	ヨーロッパの歴史	兼任	講師	中軽米 明子 (48)	平成22年4月	ヨーロッパの歴史	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	講師	中島 俊介 (60)	平成22年4月	心理学の世界	兼任	講師	森田 智 (32)	平成23年4月	心理学の世界	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	中島 俊介 (62)	平成24年4月	心理学の世界	届出時の教員が担当する (24)
兼任	講師	成末 繁郎 (50)	平成22年4月	文化人類学						
兼任	講師	野田 徹 (42)	平成22年4月	アジアの歴史	兼任	講師	内田 直文 (39)	平成22年4月	アジアの歴史	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	准教授	内田 直文 (40)			兼任から兼任になったことに伴う区分の変更 (23)
					兼任	講師	野田 徹 (44)	平成24年4月	アジアの歴史	届出時の教員が担当する (24)
兼任	講師	方 大年 (35)	平成22年4月	日本の地理と風土 世界の地理と風土						
					兼任	講師	浅見 良露 (56)	平成22年4月	世界の地理と風土	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23)
兼任	講師	中川 誠士 (55)	平成22年4月	現代の経営						
兼任	講師	渡辺 守雄 (54)	平成22年4月	現代の政治 日本の政治経済 A 日本の政治経済 B	兼任	講師	平 誠一 (33)	平成22年4月	現代の政治	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23)
					兼任	講師	山崎 将文 (54)	平成24年4月	現代の政治	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
					兼任	講師	三宅 浩之 (42)	平成22年4月	日本の政治経済 A 日本の政治経済 B	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	講師	田中 豊治 (60)	平成22年4月	現代の社会	兼任	講師	平田 毅 (53)	平成24年4月	現代の社会	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	長谷川 伸子 (50)	平成22年4月	ジェンダーと社会	兼任	講師	倉富 史枝 (52)	平成22年4月	ジェンダーと社会	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	講師	荒井 秋晴 (59)	平成22年4月	動物行動学	兼任	講師	毛利 孝之 (66)	平成22年4月	動物行動学	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	高橋 直樹 (40)	平成23年4月	動物行動学	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	講師	杉崎 裕子 (57)	平成22年4月	美学・美術史						
兼任	講師	京谷 啓徳 (40)	平成22年4月	世界の美術館Ⅰ 世界の美術館Ⅱ						
兼任	講師	長野 俊樹 (53)	平成22年4月	音楽概論Ⅰ 音楽概論Ⅱ						
兼任	講師	河口 陽子 (40)	平成22年4月	生涯学習	兼任	講師	植上 一希 (33)	平成24年4月	生涯学習	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	坂本 浩一 (48)	平成22年4月	総合講座Ⅰ						
兼任	講師	好村 友江 (49)	平成22年4月	総合講座Ⅱ 総合講座Ⅲ 総合講座Ⅳ						
兼任	講師	園田 久子 (65)	平成22年4月	人権・同和問題						
兼任	講師	緒方 泉 (52)	平成22年4月	実践キャリア学修C						
兼任	講師	真角 幸宏 (42)	平成22年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	野母 倫子 (37)	平成22年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	山本 崇代 (37)	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	野母 倫子 (39)	平成24年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	尾張 睦 (39)	平成23年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	教授	尾張 充典 (45)	平成24年4月	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	朴 明美 (49)	平成22年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	兼任	講師	李 知映 (44)	平成22年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	金 貞淑 (61)	平成23年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	李 秀賢 (47)	平成24年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	王 暁芳 (38)	平成22年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼任	講師	李 岩 (42)	平成22年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22)
					兼任	講師	張 玲 (57)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	陳 秋萍 (56)	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	岡田 美穂 (45)	平成22年4月	日本語初級A 日本語初級B 日本語初級C 日本語初級D						
兼任	講師	松本 妙子 (57)	平成23年4月	日本語中級A 日本語中級B 日本語中級C 日本語中級D						
					兼任	講師	矢毛 達之 (42)	平成24年4月	日本語中級C 日本語中級D	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	三宅 浩之 (42)	平成22年4月	日本の文化A 日本の文化B	兼任	講師	波多野 真理子 (42)	平成22年4月	日本の文化A 日本の文化B	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	講師	岡本 顕実 (65)	平成22年4月	一般日本事情A 一般日本事情B	兼任	講師	占部 匡美 (42)	平成24年4月	一般日本事情A 一般日本事情B	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	ブラウン 馬本 鈴子 (32)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	梅田 真理 (38)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
兼任	講師	洲上 啓子 (49)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	長田 順子 (57)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
					兼任	講師	清水 慶子 (64)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	山下 友子 (31)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	川口 千富美 (52)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
					兼任	講師	横尾 聡子 (36)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23)
					兼任	講師	中尾 かおり (37)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	中原 由利香 (31)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
					兼任	講師	銅堂 恵美子 (28)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	大場 智恵子 (46)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	小林 明子 (55)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者を変更 (24)
兼任	講師	郡嶋 由美子 (39)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	横尾 聡子 (35)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	岩崎 一恵 (56)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	中山 奈美 (38)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	上田 節美 (54)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	宮本 なつき (39)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	石井 征子 (36)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	島居 佳江 (46)	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ				平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	ディム 森田 美樹 (39)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語Ⅴ 英語Ⅵ						
								平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整 担当者を削除 (24)
兼任	講師	岩城 有子 (51)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	上田 節美 (53)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更 (22) (23) (24)
					兼任	講師	高木 仁美 (61)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	講師	柴田 千秋 (51)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	松尾 直美 (31)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	二宮 直美 (32)	平成23年4月		担当者の婚姻に伴う氏名の変更 (23)
					兼任	講師	松尾 直美 (33)	平成24年4月		届出時の氏名に変更 (24)
兼任	講師	渡邊 晶子 (34)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	納富 淳子 (56)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	梅田 真理 (38)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	川浪 幸代 (43)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更 (23) (24)
兼任	講師	平川 知子 (51)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	Michael Coupe (45)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	Stephen Farmer (48)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	Mark Walker Howarth (37)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Mark Walker Howarth (37)			兼任から兼任となったことに伴う区分の変更 (22)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	Ronald Wayn Parsons (57)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	兼任	講師	Orla Hirashima (48)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(23) (24)
					兼任	講師	Stubbe Raymond George (51)	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23) (24)
兼任	講師	Steven Silverman (58)	平成22年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ						
兼任	講師	Matthew Asser (37)	平成25年4月	英語表現法						
兼任	講師	井上 由美 (51)	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ				平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	授業時間割編成において開講クラスを調整し、担当者を削除(24)
兼任	講師	臼杵 岳 (30)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	空井 由花 (51)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	三角 耕一郎 (39)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	授業時間割編成において担当者の変更(22) (23)
					兼任	講師	空井 由花 (53)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	届出時の教員が担当する(24)
兼任	講師	三瀬 亜紀 (34)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	大藪 勉 (70)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	空井 由花 (52)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	沖 洋子 (39)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
兼任	講師	浜田 由紀子 (61)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	山崎 富美恵 (58)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	藤原 恵子 (46)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23) (24)
					兼任	講師	近藤 岳志 (31)	平成23年4月	設計製図実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	福山 秀親 (47)	平成23年4月	住居・インテリア設計基礎実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	小林 哲治 (39)	平成23年4月	住宅設計実習	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	岩本 達樹 (61)	平成24年4月	技術者倫理	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	桐生 直代 (41)	平成24年4月	スタディ・スキル（国語力） スタディ・スキル（文章力）	平成24年4月から 教養科目の充実を図るため、 科目を追加(24)
					兼任	講師	川浪 幸代 (43)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	上田 節美 (55)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	菰田 真由美 (36)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	淵上 啓子 (50)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者の変更(23)
					兼任	講師	有岡 拓也 (36)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	松原 留美 (45)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	郡嶋 由美子 (41)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	授業時間割編成において担当者を変更(24)
					兼任	講師	Jenifer Larson-Hall (43)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23)
					兼任	講師	Stephen Paton (33)	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	Eric Jonathan Miller (45)	平成23年4月	英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	Mason Lampert (33)	平成23年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ 英語会話Ⅲ 英語会話Ⅳ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(23) (24)
					兼任	講師	Adam Gabriel Stone (34)	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)
					兼任	講師	Michael Jordan Berg (33)	平成24年4月	英語会話Ⅰ 英語会話Ⅱ	教育課程の充実を図るため、担当者を追加(24)

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	0	4	0	8	0	4	2	2	0	8	0	
(4)	(0)	(4)	(0)	(8)	(0)	[0]	[2]	[△ 2]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			該当なし
2			
3			

(注) ・専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」</p> <p>担当者を変更した科目については、授業科目の概要(シラバス)に基づき、その授業が実施可能な教員を学部教授会において審査したうえで授業を担当しているため、教育上問題はない。</p> <p>「学生への周知方法」</p> <p>学生に配布する時間割表にて周知している。</p>
--

(注) ・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	国際文化学部日本文化学科の 入学定員超過の是正に努める こと。	国際文化学部日本文化学科の 入学定員超過の是正に努めた 結果、平成23年度は入学定員 60名に対し入学者は71名と なった。その結果、入学定員 超過率は1.18倍となり、平成 23年度平均定員超過率は、 1.27倍と是正されている。 (23)	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	工学部都市基盤デザイン工学 科、バイオロボティクス学 科、芸術学部美術学科の定員 充足率が0.7倍未満となってい ることから、学生確保に努め るとともに、今後の定員の在 り方について検討すること。	工学部都市基盤デザイン工学 科の平成23年度平均定員超過 率は0.65倍であり、平成22年 度より若干であるが上昇して いる。また、平成22年度より 入学定員を80名から60名に 変更しており、今後平均定員超 過率は、上昇するものと考え られる。 バイオロボティクス学科の平 成23年度平均定員超過率は 0.62倍であり、平成22年度 より上昇している。また、平 成22年度より入学定員を65 名から55名に変更しており、 今後平均定員超過率は、上昇 するものと考えられる。 芸術学部美術学科の平成23 年度平均定員超過率は0.70 倍であり、平成22年度より上 昇している。 今後とも入学定員を確保す るため、学生募集活動に傾注 したい。(23)	
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	工学部都市基盤デザイン工学 科、バイオロボティクス学科 の定員充足率が0.7倍未満と なっていることから、学生確 保に努めるとともに、入学定 員の見直しについて検討する こと。	工学部都市基盤デザイン工学 科の平成24年度平均定員超過 率は0.75倍であり、平成23 年度より上昇している。また、 平成22年度より入学定員を8 0名から60名に変更しており、 今後平均定員超過率は、上昇 するものと考えられる。 バイオロボティクス学科の平 成24年度平均定員超過率は 0.75倍であり、平成23年度 より上昇している。また、平 成22年度より入学定員を65 名から55名に変更しており、 今後平均定員超過率は、上昇 するものと考えられる。 今後とも入学定員を確保す るため、学生募集活動に傾注 したい。(24)	

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

定員管理の状況（平成24年5月1日現在）

大学名	学部・学科名	項目	24年度	23年度	22年度	21年度	24年度 平均定員 超過率	23年度 平均定員 超過率
九州産業大学	工学部 都市基盤デザイン 工学科	入学定員超過率	0.95	0.76	0.78	0.51	0.75	0.65
		入学者数	57	46	47	41		
		入学定員	60	60	60	80		
	工学部 バイオロボティク ス学科	入学定員超過率	0.92	0.52	1.05	0.53	0.75	0.62
		入学者数	51	29	58	35		
		入学定員	55	55	55	65		

7 その他全般的事項

<工学部 住居・インテリア設計学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会大学院専門部会
- ・ 工学部では独自の「工学部FD委員会」が設置されており、毎年、工学部におけるFD活動の年間計画を策定し、年度初めに拡大教授会にて審議、了承のうえ計画に基づき活動している。住居・インテリア設計学科も開設後より、担当教員1名を委員として工学部FD委員会に参画している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会 3回 各16人（委任、代理出席含む）
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会 1回 各11人（委任、代理出席含む）
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会大学院専門部会 1回 各7人（委任、代理出席含む）
- ・ 各学科の代表委員で構成される工学部FD委員会は、定期的に委員会を開催し、年間計画に基づく活動の具体的な実施について検討している。また、大学院FD委員会とも連携した取組を行っている。年度末の拡大教授会において活動結果が報告・了承され、新年度のFD活動実施計画も拡大教授会での審議・了承を経て決定される。

c 委員会の審議事項等

- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会
 - 平成22年度（後学期）〔学部〕授業評価アンケート結果集計について
 - 平成22年度（後学期）〔大学院〕授業評価アンケート結果集計について
 - 平成23年度〔学部〕ファカルティ・ディベロップメント委員会活動計画（案）について
 - 平成23年度〔大学院〕ファカルティ・ディベロップメント委員会活動計画（案）について
 - 平成23年度（前学期）〔学部〕授業評価アンケートの実施について
 - 平成23年度（前学期）〔大学院〕授業評価アンケートの実施について
 - 平成23年度（前学期）授業評価アンケート結果集計について
 - 平成23年度（前学期）大学院授業評価アンケート結果集計について
 - 平成23年度（後学期）授業評価アンケート実施計画（案）について
 - 平成23年度（後学期）大学院授業評価アンケート実施計画（案）について
 - 平成23年度「1年次生へのアンケート調査」の実施結果について
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会
 - 平成23年度九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント活動計画（案）（学部）について
- ・ ファカルティ・ディベロップメント委員会大学院専門部会
 - 平成23年度九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント活動計画（案）（大学院）について
- ・ 委員会の主な審議事項としては、授業改善に向けた各種取組を企画、支援してその成果をとりまとめたフィードバックさせる一連の内容である。学生による授業評価アンケートの結果抽出をはじめ、教員相互の授業参観、学内外の講師によるFD講演会・FD研修会などを通して、教員のFD活動への取組を支援するとともに、年度末には工学部・大学院工学研究科のFD活動成果を取りまとめた「授業改善のために」を発行している（昨年度に第9集を発行）。

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケート（前学期・後学期）年2回
- ・ファカルティ・ディベロップメント研修会（前学期・後学期）年2回
- ・授業情報交換会
- ・学生による授業評価アンケートの結果抽出と授業改善報告書のまとめ
- ・教員相互の授業参観の実施報告書のまとめ
- ・授業評価アンケートの結果の活用
- ・学科独自のFD活動の抽出と活動情報の共有化
- ・平成23年度報告書「授業改善のために（第9集）」の作成

b 実施方法

- ・授業評価アンケート（マークシート自由記述併用）
- ・ファカルティ・ディベロップメント研修会（講義方式、質疑応答含む）
- ・授業情報交換会（講義〔情報提供〕方式、質疑応答含む）
- ・工学部FD委員会において、講演会および研修会を企画、それぞれ1回の開催
- ・授業評価アンケートでの主要な意見をFD委員会で抽出し、授業改善報告書を作成
- ・授業評価が高い授業などを授業参観し、その結果報告をFD委員会でまとめる
- ・各学科で懇談会やアンケートを実施し、学生の意見をまとめて報告
- ・授業評価アンケートの結果を各学科主任に公開、各学科の取組に有効活用
- ・上記結果を、平成24年度報告書「授業改善のために（第10集）」としてまとめる

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケート（全専任教員、全非常勤講師対象。全講義対象（一部、ゼミナール等を除く））
- ・ファカルティ・ディベロップメント研修会（第1回76人、第2回75人）
- ・授業情報交換会（40人）
- ・授業改善報告書の作成
工学部で作成した授業改善報告書の一部を、改善例として本学ホームページにて公開
- ・教員相互による授業参観の実施
参観総数30件（うち住居・インテリア関連が9件）、参観結果をとりまとめた
- ・学科独自のFD活動の抽出と活動情報の共有化
住居・インテリア設計学科で取り組む活動を以下に抽出して紹介した
※「インテリア・住居・建築」サテライトプロジェクト（学生作品の学外展示や実務家講演会など）による
学生の学習意欲増進
※在学生全員を対象にしたクラス担任面談の実施
※建築設計に関する実習科目での20名程度のクラス編成による少人数教育の実施
※「シラバス作成要領」の作成と教員への配付を通じたシラバス改善
- ・平成23年度FD活動報告書「授業改善のために（第9集）」の製本・印刷・配布
上記のFD活動内容を昨年度末にとりまとめ、冊子体として第9集を製本

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果については、ファカルティ・ディベロップメント委員会で報告するとともに、集計結果を教員に配布し、各々が次に向けて鋭意改善に取り組んでいる。

さらに、社会への公表および学生へのフィードバックのため、ホームページで公表している。

既設の工学部FD委員会に参画し、これまでの蓄積された実績を踏まえて活動を行っている。ほぼ毎週の開催となる学科会議においてFD活動の全般的事項を協議している。また、学科会議とは別に不定期ではあるが、授業等での問題や改善の必要性が感じられた場合には、学科懇談会（毎月2回程度）を開催し、現段階で可能な対応を検討し改善するように努めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケート（前学期7月・後学期12月）年2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・平成19年度よりホームページで公表
- ・各教員に集計結果を配布

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表(予定)時期
- 平成22年度自己点検・評価報告書、平成22年度大学基礎データ
- ・平成23年7月7日 公表
- 平成23年度自己点検・評価報告書、平成23年度大学基礎データ
- ・平成25年3月公表(予定)
- ※例年7月に公表しているが、平成23年度は認証評価のため平成24年度末に認証評価結果として公表
- 平成24年度大学基礎データ
- ・平成24年12月公表(予定) ※例年、次年度に報告書と同時に公表していたが、大学基礎データは当該年度に公表
- b 公表方法
- ・自己点検・評価報告書および大学基礎データを刊行し、文部科学省、私立大学協会、大学基準協会などの関係機関および付属高等学校へ送付。本学および併設短期大学の各図書館に寄贈
- 学内では、全教員、役職者、各部所に配布
- ・大学ホームページ上に公開(平成23年7月) 平成22年度自己点検・評価報告書、大学基礎データ
- ・大学ホームページ上に公開予定(平成25年3月) 平成23年度自己点検・評価報告書、大学基礎データ
- ※例年7月に公表しているが、平成23年度は認証評価のため平成24年度末に認証評価結果として公表
- ・大学ホームページ上に公開予定(平成24年12月) 平成24年度大学基礎データ
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成24年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受審

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成24年 6月 日)

(3) 自己点検・評価に関する事項

①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現段階での評価は難しく、今後とも、設置の趣旨・目的が十分に達成されるように、完成年度に向けてカリキュラムや教育支援に資する各種システムの整備を図っていく。設置申請時からの変更を含め、概略を以下に示す。

教育課程編成

今後とも、学年進行に合わせて履修学生の状況を把握しながら、教育課程の検証を行う。

教員組織

教員組織は設置申請時のとおりである。平成22年4月に講師2名が准教授に昇任し、現在は教授4名、准教授2名、講師2名の専任教員で構成している。

教育方法

初年度の実績から、1年次導入科目である「基礎ゼミナール」では多岐にわたる内容を避けて、前半の数回に学生生活の導入を、その後は「ものづくり」を共通テーマにして、ゼミ単位で調査・計画・模型制作等に取り組む形式を試行した。このプロセスを通じて必要なスキルが身につくように、テーマもより具体的に実際の公園整備のなかで企画されている東屋（簡易の休憩所）の設計とした。また、これらのプロセスのなかでOB、OGによる講演を取り入れた。入学時からの少人数クラス担任制(1教員が8名程度の学生を担当)をベースにした取り組みは、学生間、学生と教員とのコミュニケーションが良好で、学生へも好評で授業評価も高く、この状況は2年次進級後も持続している。この結果を受け、本年度新入生に対しても、テーマは異なるものの同様なスタンスで取り組んでいる。また、学年進行に伴い、各科目での授業内容について教員間での確認を行うなど、効果的な教育内容や方法について検討している。

履修指導

学生への履修指導は、入学時からクラス担任が行っている。入学後の早い時期、各学期の途中で出席状況をもとに履修指導対象者が抽出され、この結果に基づきクラス担任が実施している。初年度より現在に至るまで、履修指導の対象となる学生は年々減少しており、他学科に比べても非常に少ない。今後とも、学生間、学生と教員のコミュニケーションを充実させ、担任クラス（ゼミ）による諸問題への対応を基盤とした取組が必要である。

設備・施設

設計教育の充実と実践的教育を実施するために、昨年度に引き続き、インテリア・CAD 演習室の整備として、ソフトウェア等のアップデートの定期的な実施、新たなソフトウェアの導入を行い利用環境の充実を図っている。講義をはじめ、課外活動での利用も増加しており、多様な学生ニーズに対応した管理・運営体制を構築するように準備を進めている。

入学者選抜

平成 24 年度入試においては、定員 60 名に対して志願者は 148 名、入学者は 55 名であった。入試種別による志願者の内訳では、AO 入試 14 名、推薦入試 28 名、一般入試・一般センター併用型入試 75 名、センター試験利用入試 31 名であった。恒常的な定員確保に向けて、これまでの入試広報活動ならびに入試結果を踏まえ、募集活動や広報活動を進めるべく、入試部、工学部各学科と連携を図り、教員による適切かつ効果的な高校訪問の実施を検討している。

ファカルティ・ディベロップメント（FD）

前述のとおり学部や学科内での活動を継続し、完成年度までの活動内容とその成果をもとに、種々の検証を行う予定である。なお、早急な課題については、逐次、学科会議および学科懇談会にて審議・適切な対応を図るように取り組んでいる。

九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、九州産業大学の学部及び大学院の授業内容及び方法の改善を図ることを目的として設置するファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(任務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- (5) 学生の学力育成と能力向上に関する事項
- (6) 学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- (7) その他、委員会が必要と認めた事項

(構成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各学部長
- (3) 各研究科長
- (4) 健康・スポーツ科学センター所長
- (5) 教務部長
- (6) 語学教育研究センター所長
- (7) 基礎教育センター所長
- (8) 教職課程主任
- (9) 事務局長

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長をもって当て、副委員長は教務部長をもって当てる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席によって成立する。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(専門部会)

第6条 委員会の任務を円滑に遂行するために、委員会の下に学部専門部会及び大学院専門部会を置く。

- 2 専門部会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、大学評価室が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。
- 3 九州産業大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会運営要領

(趣旨)

第1条 この要領は、九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（以下「規程」という。）第6条第2項の規定に基づき、学部専門部会（以下「専門部会」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

(任務)

第2条 専門部会は、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長の諮問に応じ、規程第2条に関する事項を協議し、委員長に答申することを任務とする。

(構成)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教務部長
- (2) 各学部及び健康・スポーツ科学センターから選出された専任教員各1名
- (3) 教職課程専任教員1名
- (4) 教務部事務部長

(部会長及び副部会長)

第4条 専門部会に部会長及び副部会長各1名を置く。

- 2 部会長は、教務部長をもつて当てる。
- 3 副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 専門部会は、部会長が招集し、その議長となる。

- 2 専門部会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 専門部会の議事は、出席委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 部会長が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務)

第6条 専門部会の事務は、大学評価室が行う。

附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。